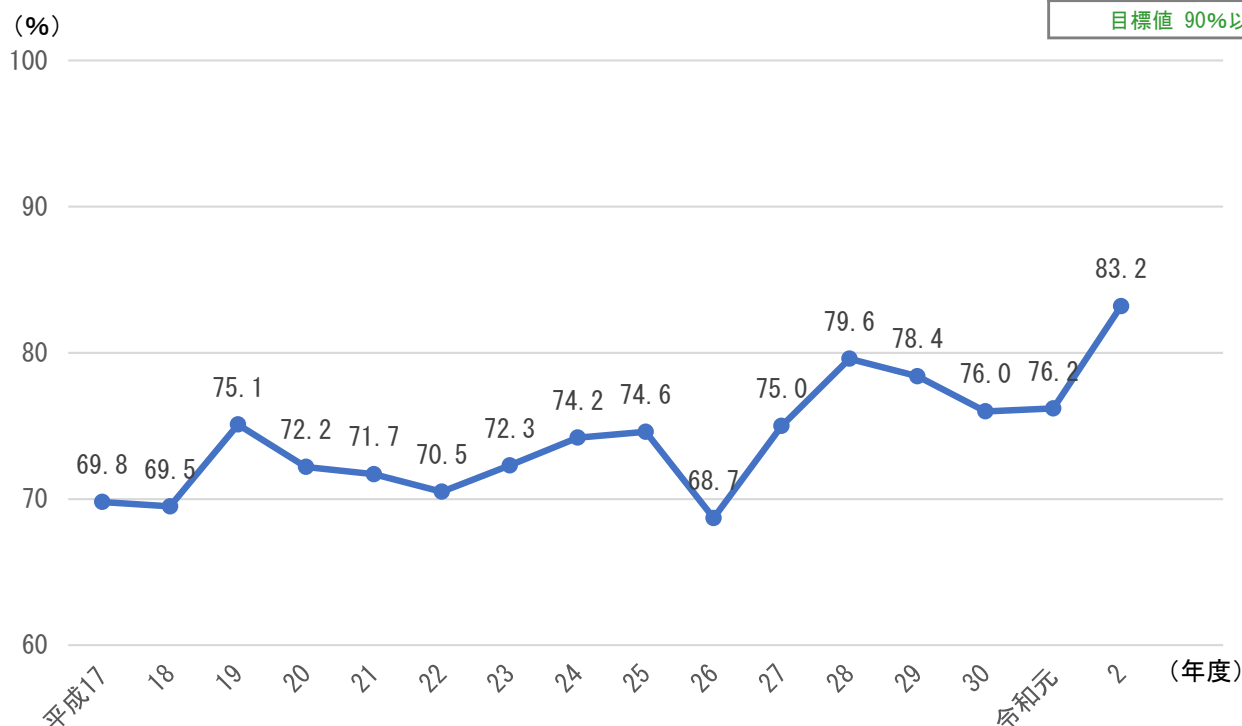


【7. 第3次食育推進基本計画の 目標 の状況】

15目標（21指標）のうち、目標を達成した指標は7指標、作成時より改善している指標は6指標（目標達成指標は除く）、未改善指標は8指標であった（図56～76）。

なお、農林水産省による「食育に関する意識調査」について、令和2年度から調査方法を調査員による個別面接聴取から郵送調査に変更した。同調査において、数値を把握しているのは図56、57、58、60、64、65、66、68、70、72～75。なお、図70については、農林水産省による「食生活及び農林漁業体験に関する調査」で把握していたが、令和2年度に同調査を「食育に関する意識調査」に統合し調査している。

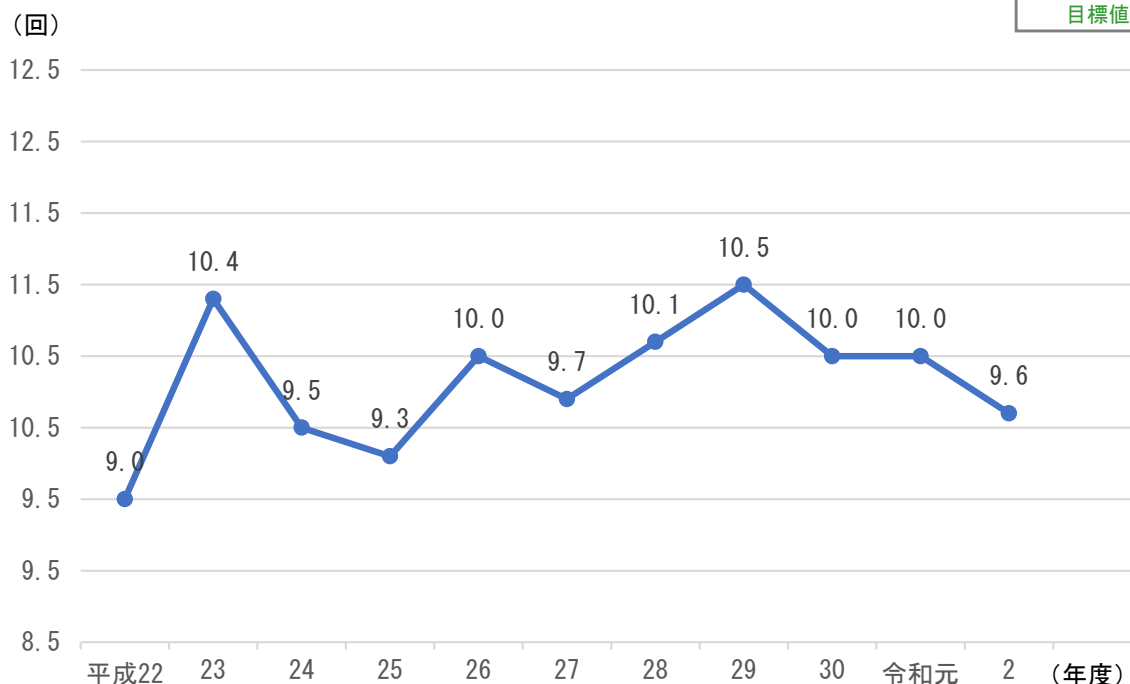
図56 食育に関心を持っている国民の割合の推移



現状値 (令和2年度) 83.2%	改善 △
3次計画作成時 75.0%	
目標値 90%以上	

資料：農林水産省（平成27（2015）年度までは内閣府）「食育に関する意識調査」

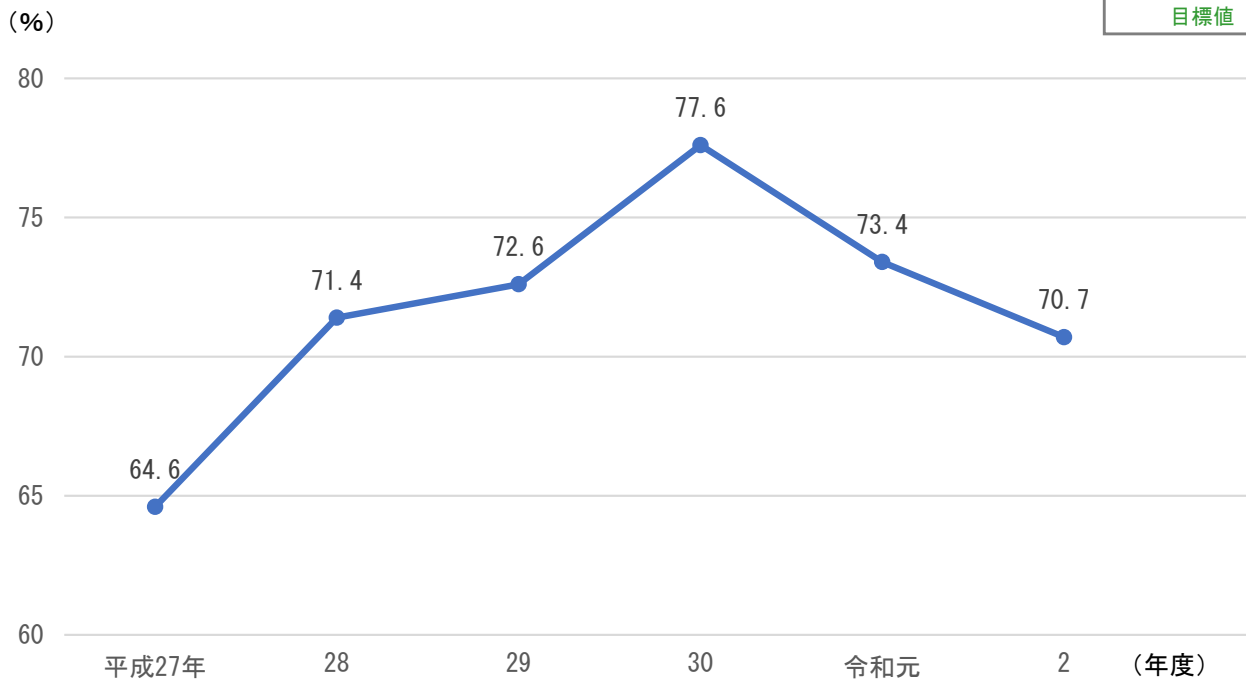
図57 朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の推移



現状値 (令和2年度) 週9.6回	悪化 ▼
3次計画作成時 週9.7回	
目標値 週11回以上	

資料：農林水産省（平成27（2015）年度までは内閣府）「食育に関する意識調査」

図58 地域等で共食したいと思う人が共食する割合の推移

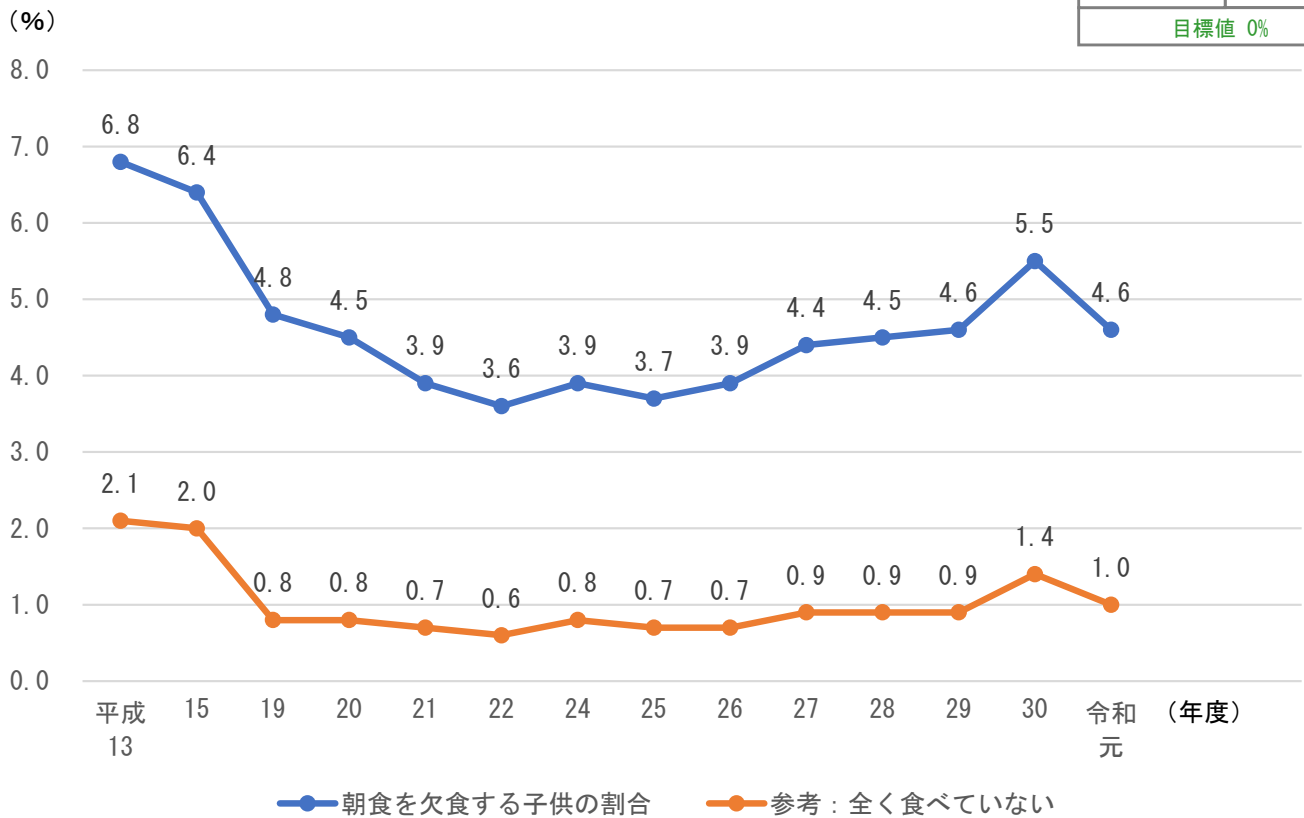


現状値 (令和2年度) 70.7%	目標達成 ◎
3次計画作成時 64.6%	
目標値 70%以上	

資料：農林水産省（平成27（2015）年度までは内閣府）「食育に関する意識調査」

現状値 (令和元年度) 4.6%	悪化 ▼
3次計画作成時 4.4%	
目標値 0%	

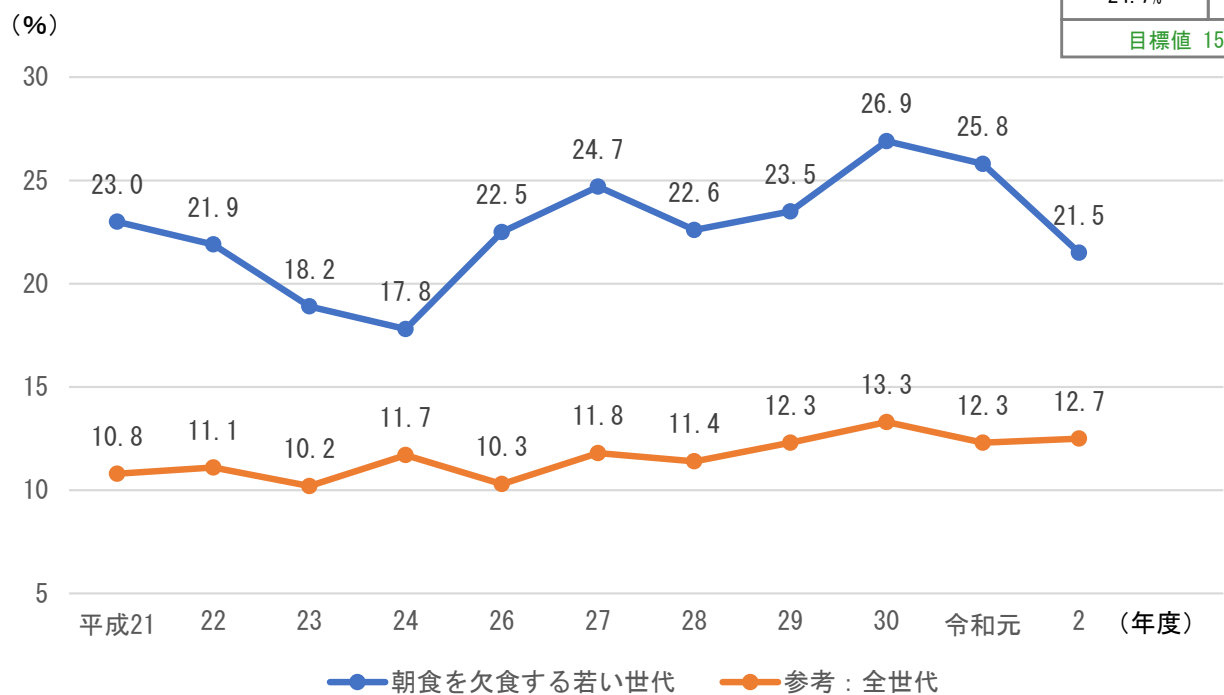
図59 朝食を欠食する子供の割合



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」
(注) 小学校6年生が対象

現状値 (令和2年度) 21.5%	改善 △
3次計画作成時 24.7%	
目標値 15%以下	

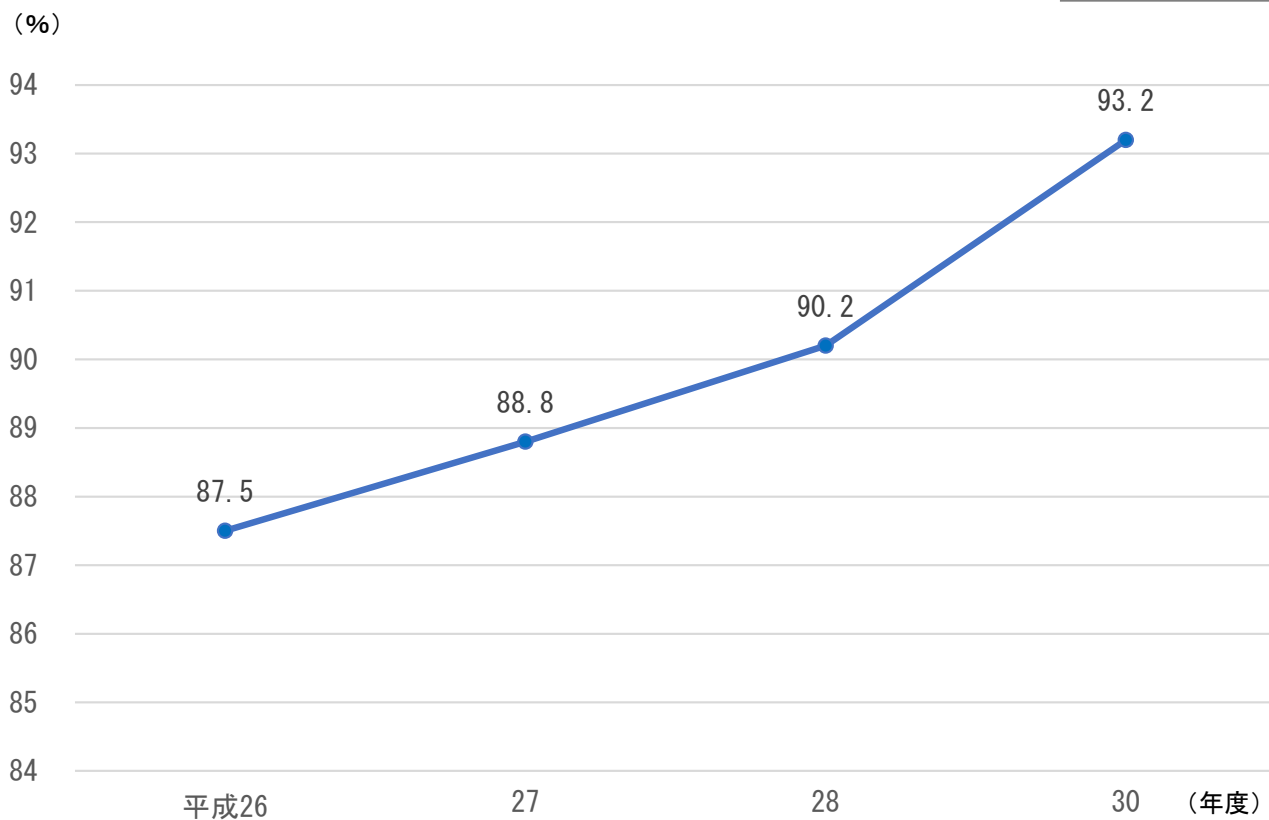
図60 朝食を欠食する若い世代の割合



資料：農林水産省（平成27（2015）年度までは内閣府）「食育に関する意識調査」
(注) 20～30歳代が対象

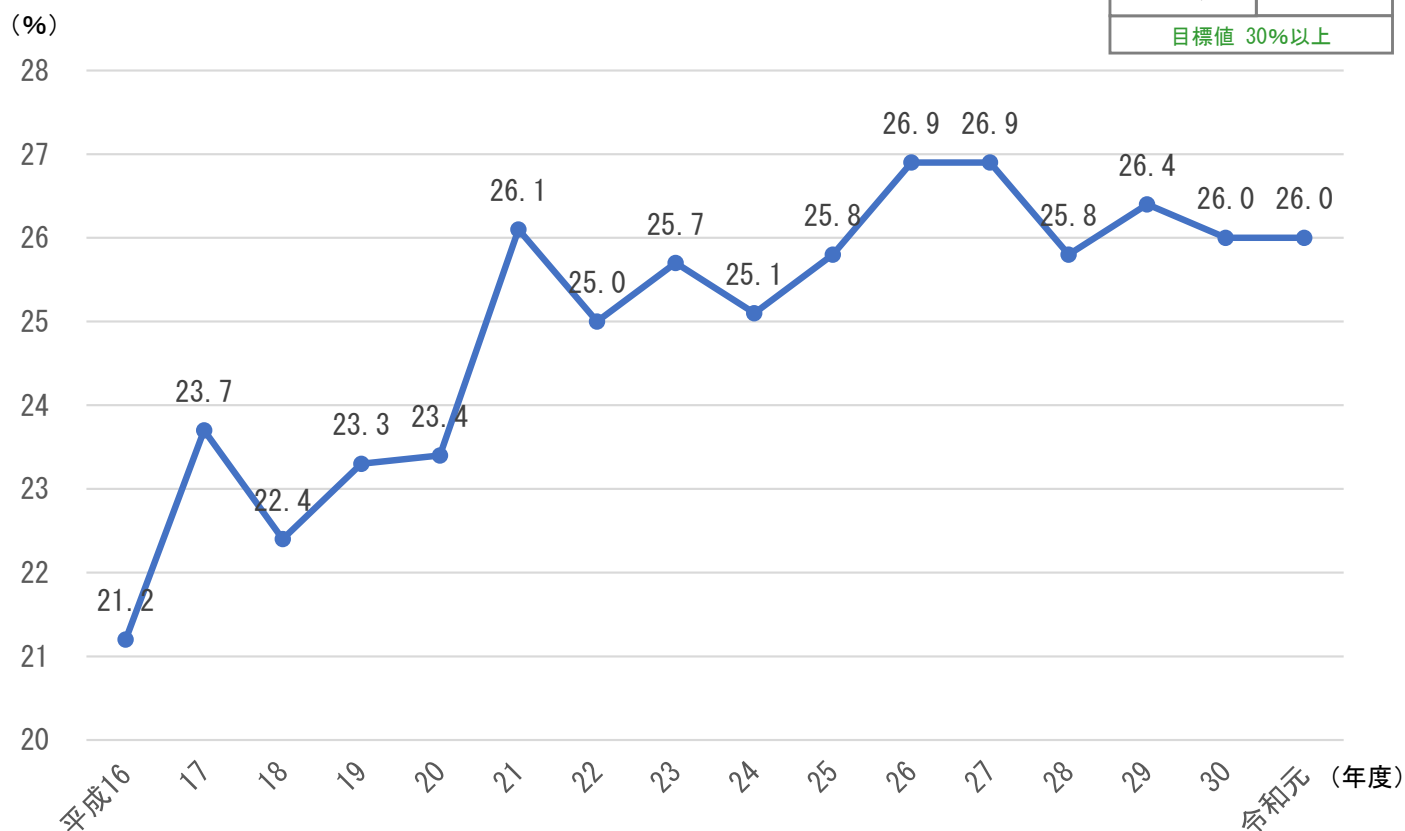
図61 中学校における学校給食実施率

現状値 (平成30年度) 93.2%	目標達成 ◎
3次計画作成時 87.5%	
目標値 90%以上	



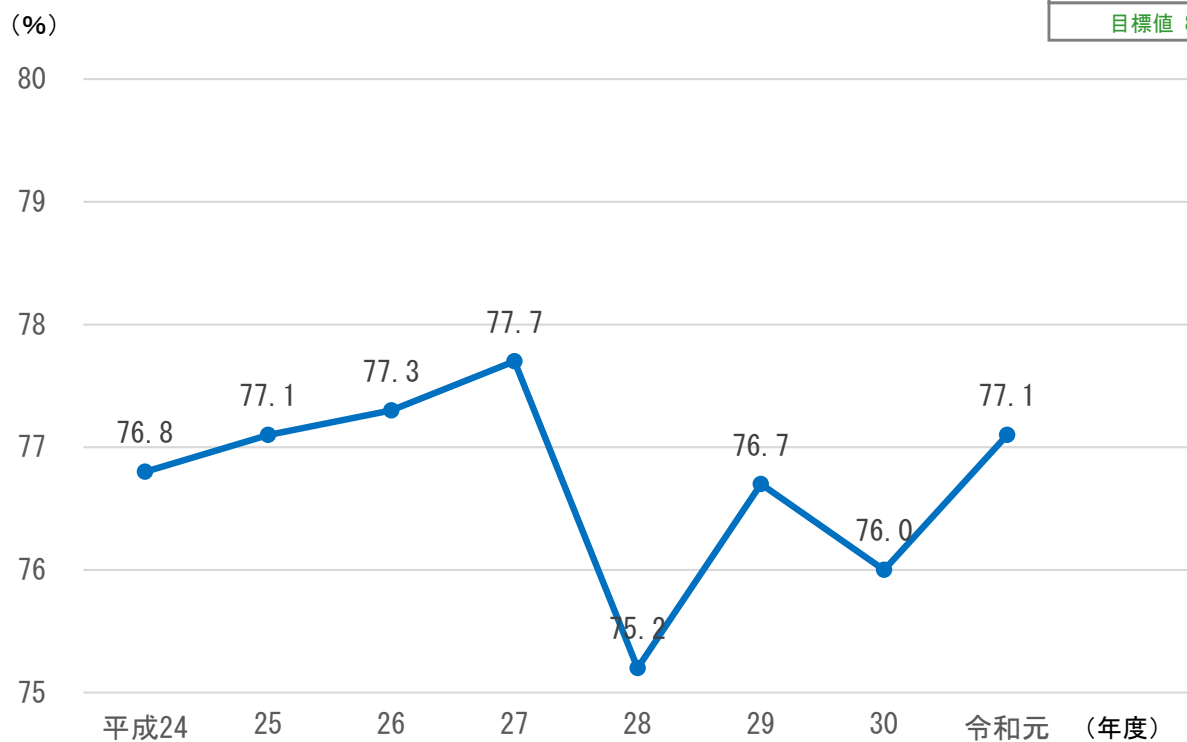
資料：文部科学省「学校給食実施状況等調査」

図62 学校給食における地場産物を使用する割合



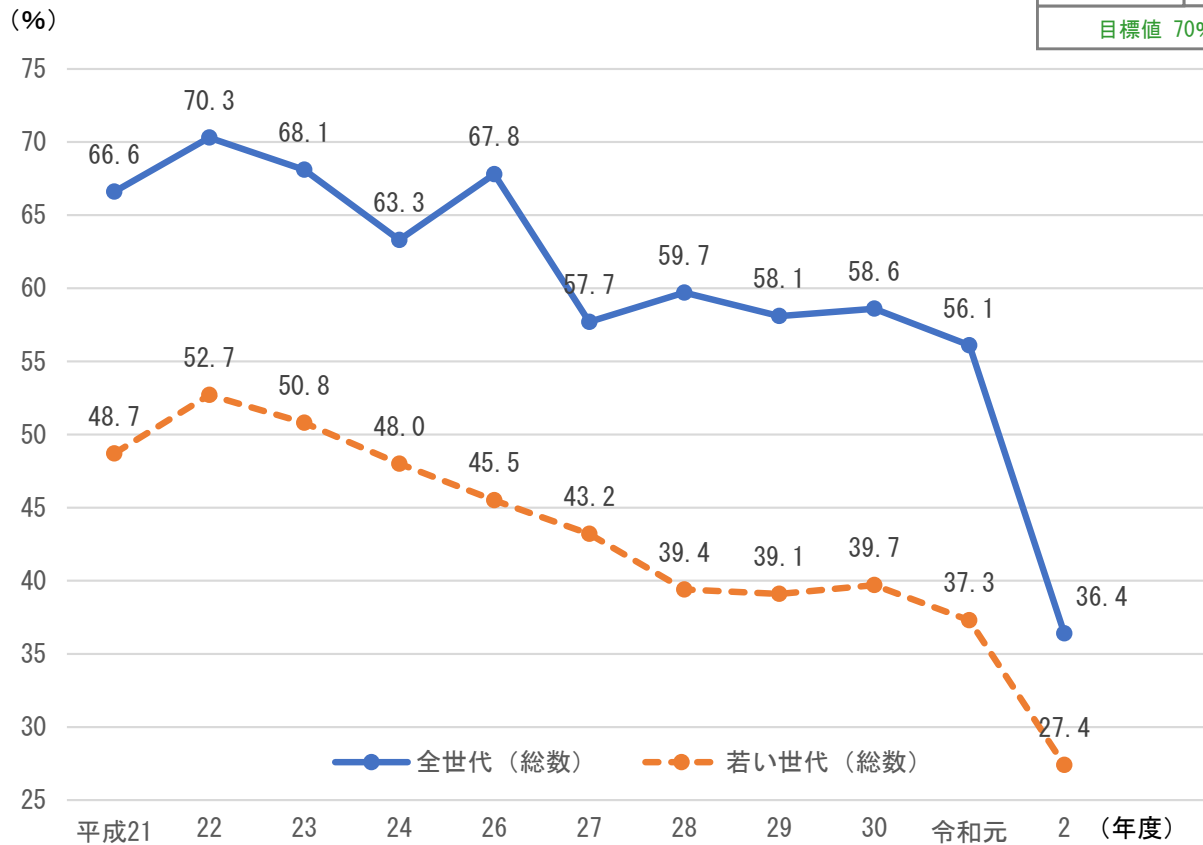
資料：平成24年度以降は、文部科学省「学校給食栄養報告」
平成23年度以前は、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課調べ

図63 学校給食における国産食材を使用する割合



資料：平成24年度以降は、文部科学省「学校給食栄養報告」
平成23年度以前は、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課調べ

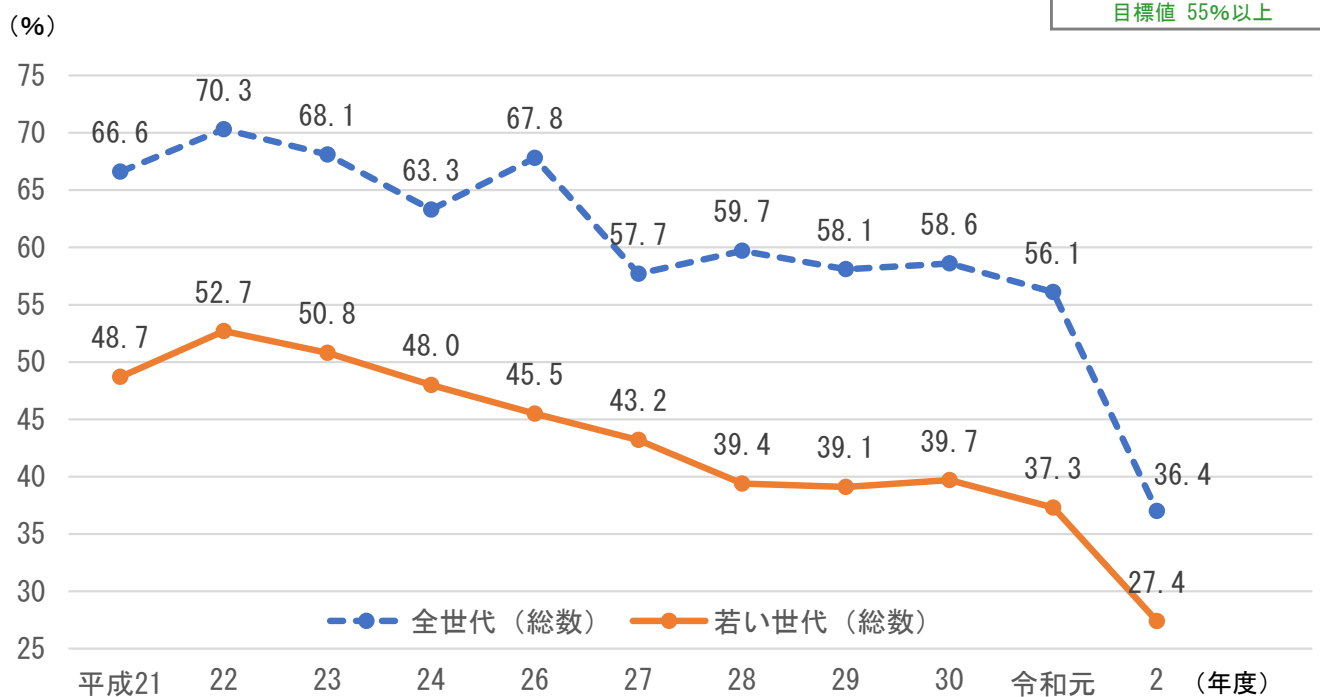
図64 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合



現状値 (令和2年度) 36.4%	悪化 ▼
3次計画作成時 57.7%	
目標値 70%以上	

資料：農林水産省（平成27（2015）年度までは内閣府）「食育に関する意識調査」

図65 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代の割合

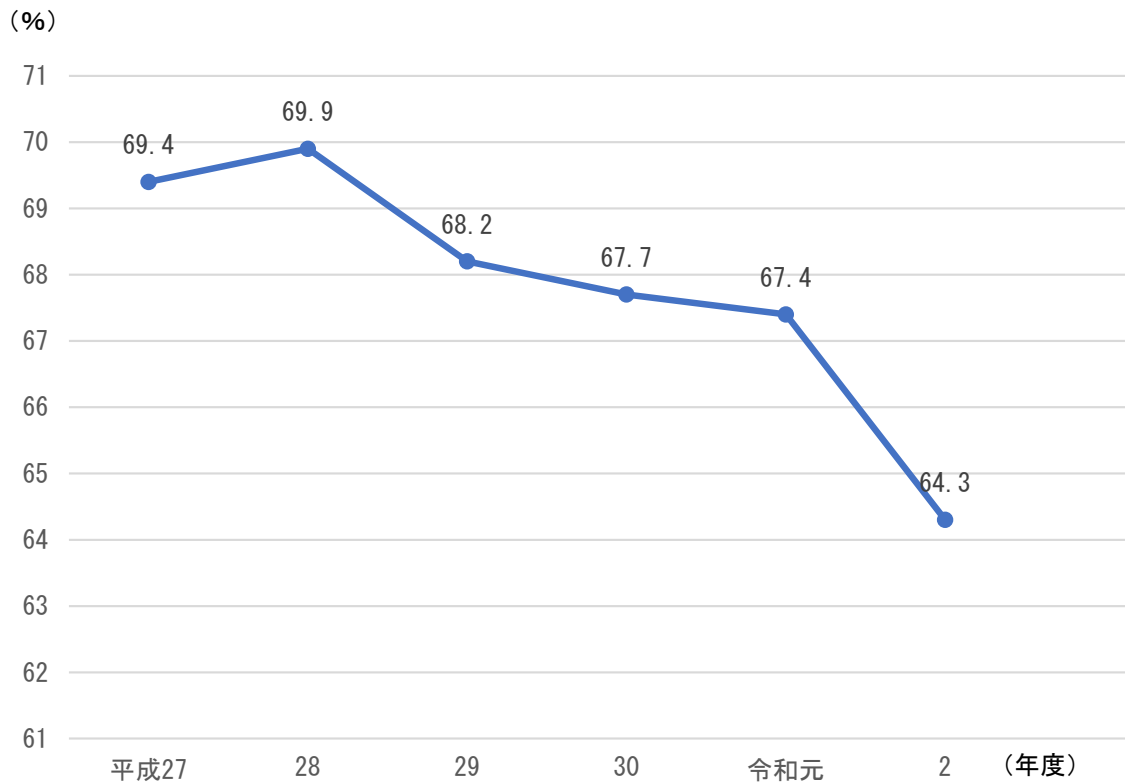


現状値 (令和2年度) 27.4%	悪化 ▼
3次計画作成時 43.2%	
目標値 55%以上	

資料：農林水産省（平成27（2015）年度までは内閣府）「食育に関する意識調査」
（注）20～30歳代が対象

図66 生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持や減塩等に関心を持った食生活を実践する国民の割合

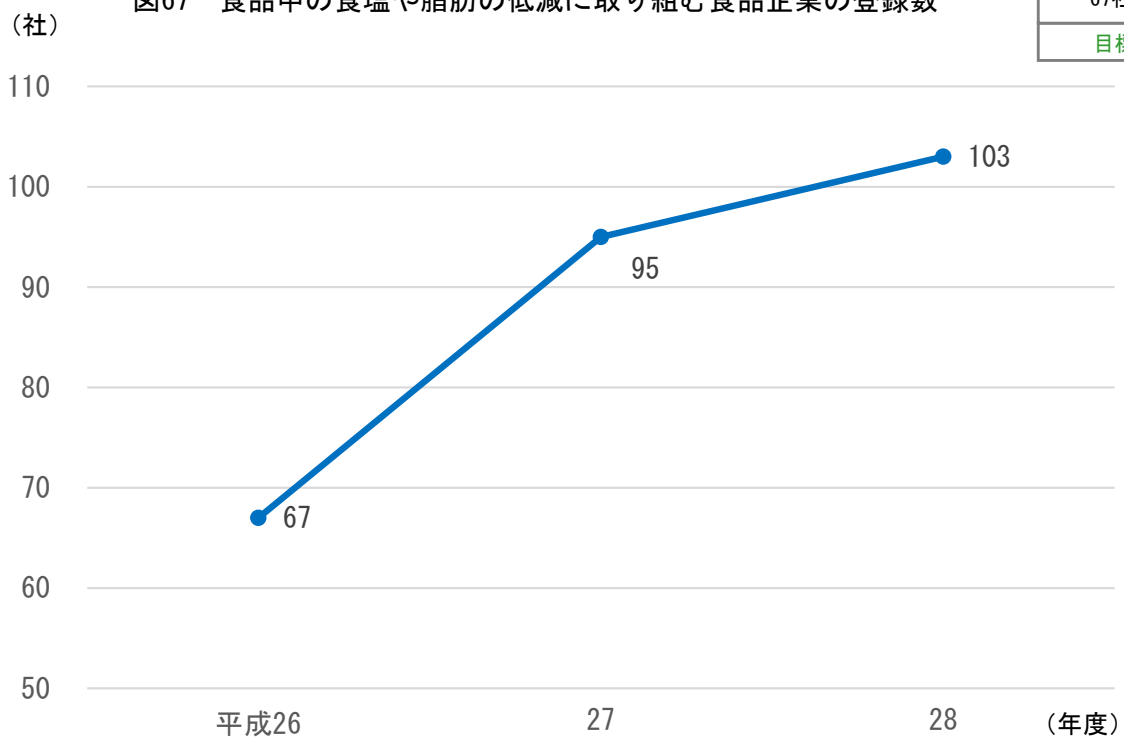
現状値 (令和2年度) 64.3%	悪化 ▼
3次計画作成時 69.4%	
目標値 75%以上	



資料：農林水産省（平成27（2015）年度までは内閣府）「食育に関する意識調査」

図67 食品中の食塩や脂肪の低減に取り組む食品企業の登録数

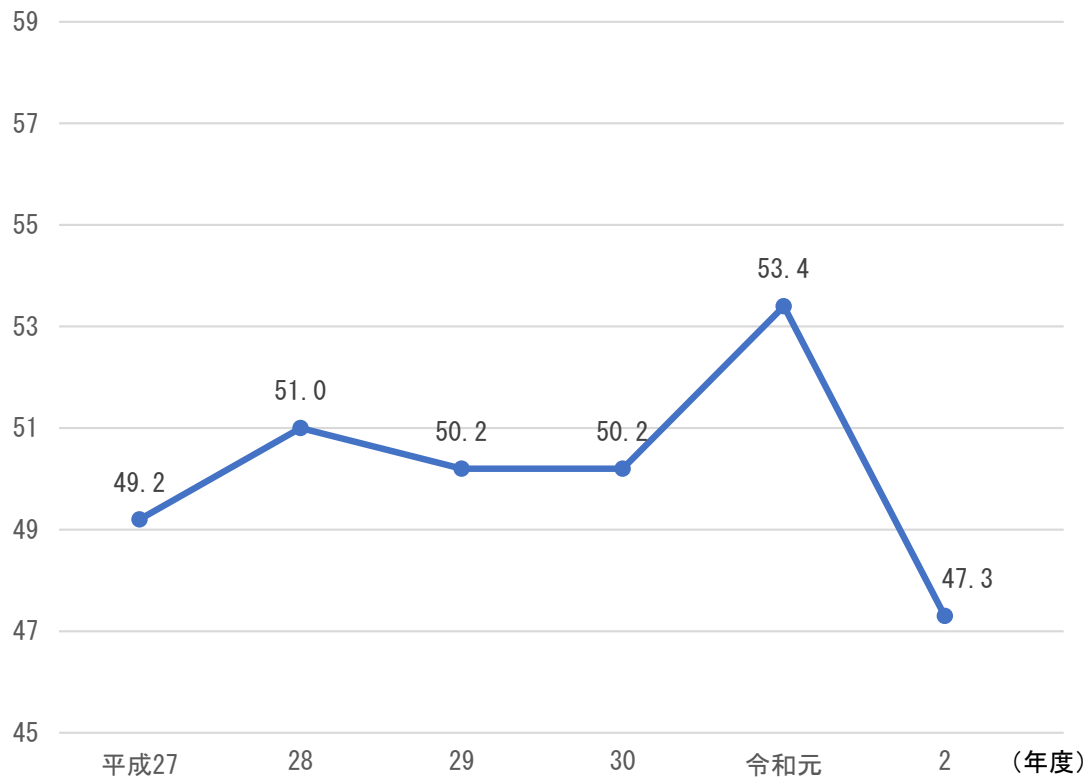
現状値 (平成28年度) 103社	目標達成 ◎
3次計画作成時 67社	
目標値 100社以上	



資料：スマート・ライフ・プロジェクト登録企業数（厚生労働省）

図68 ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合

(%)

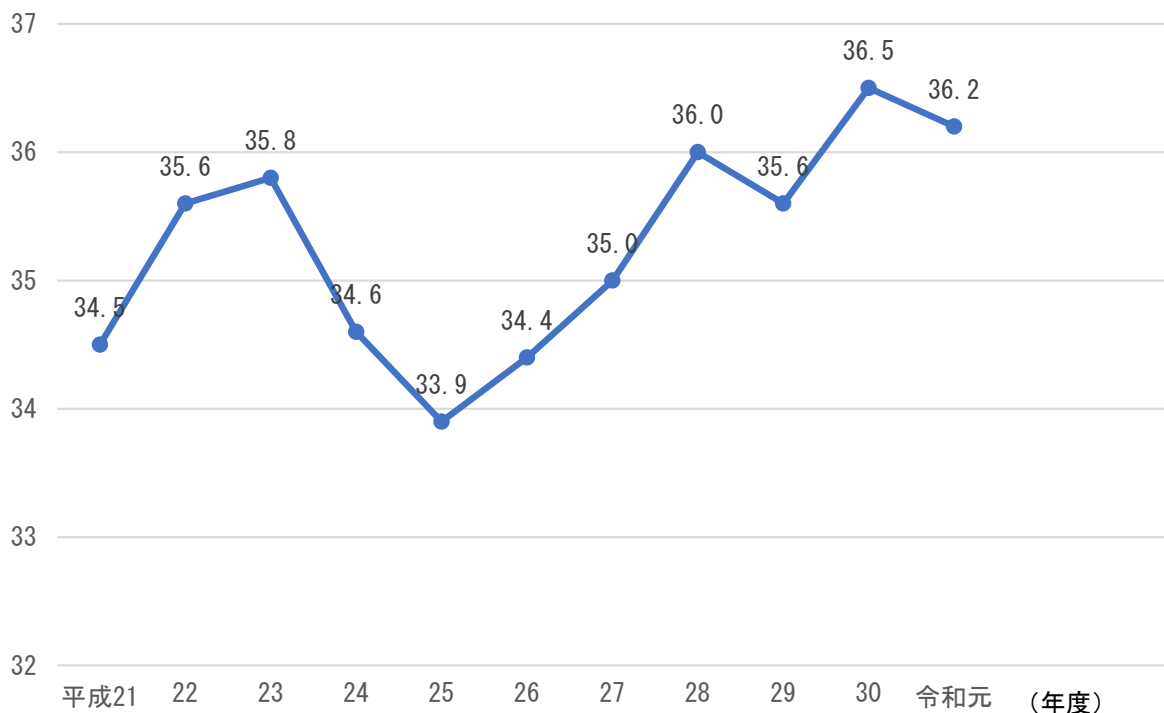


現状値 (令和2年度) 47.3%	悪化 ▼
3次計画作成時 49.2%	
目標値 55%以上	

資料：農林水産省（平成27（2015）年度までは内閣府）「食育に関する意識調査」

図69 食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数

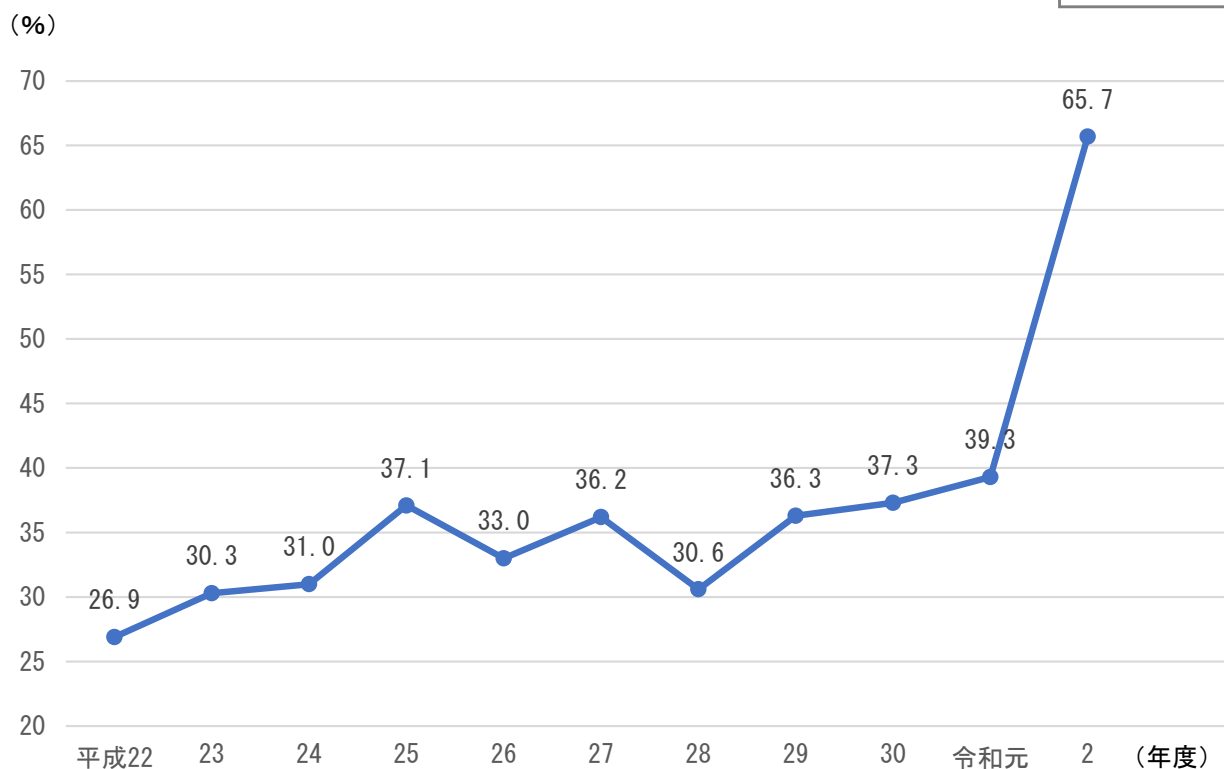
(万人)



現状値 (令和元年度) 36.2万人	改善 △
3次計画作成時 34.4万人	
目標値 37万人以上	

資料：農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課（平成26年度までは内閣府）調べ

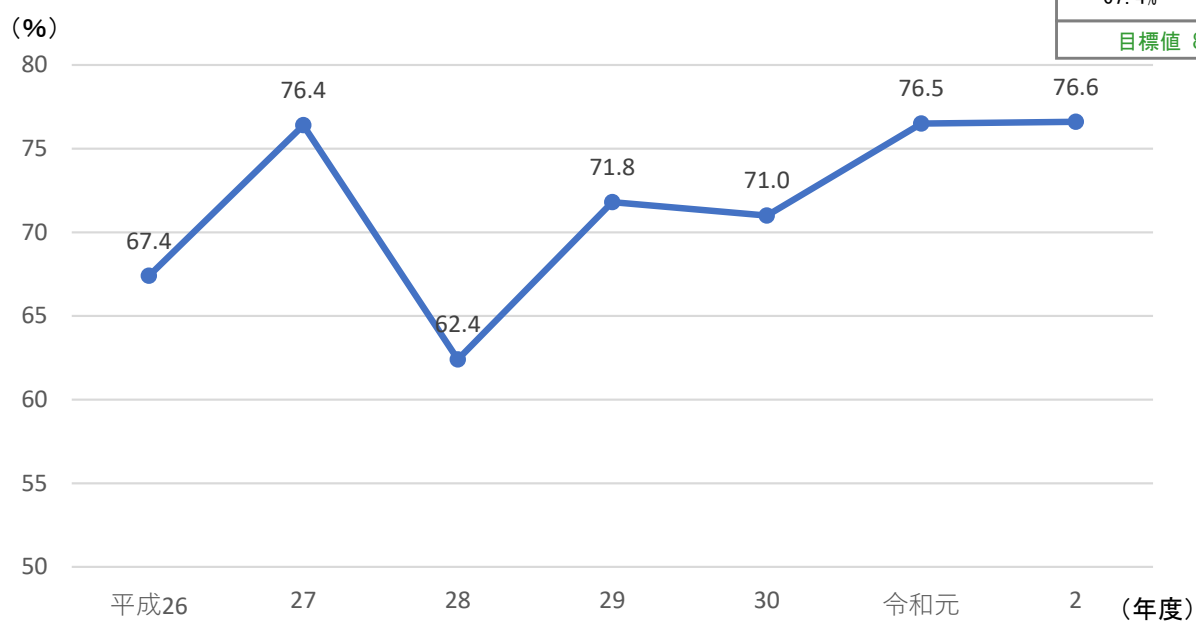
図70 農林漁業体験を経験した国民（世帯）の割合



現状値 (令和2年度) 65.7%	目標達成 ◎
3次計画作成時 36.2%	
目標値 40%以上	

資料：農林水産省「食生活及び農業体験に関する調査」、「食育に関する意識調査」

図71 食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合

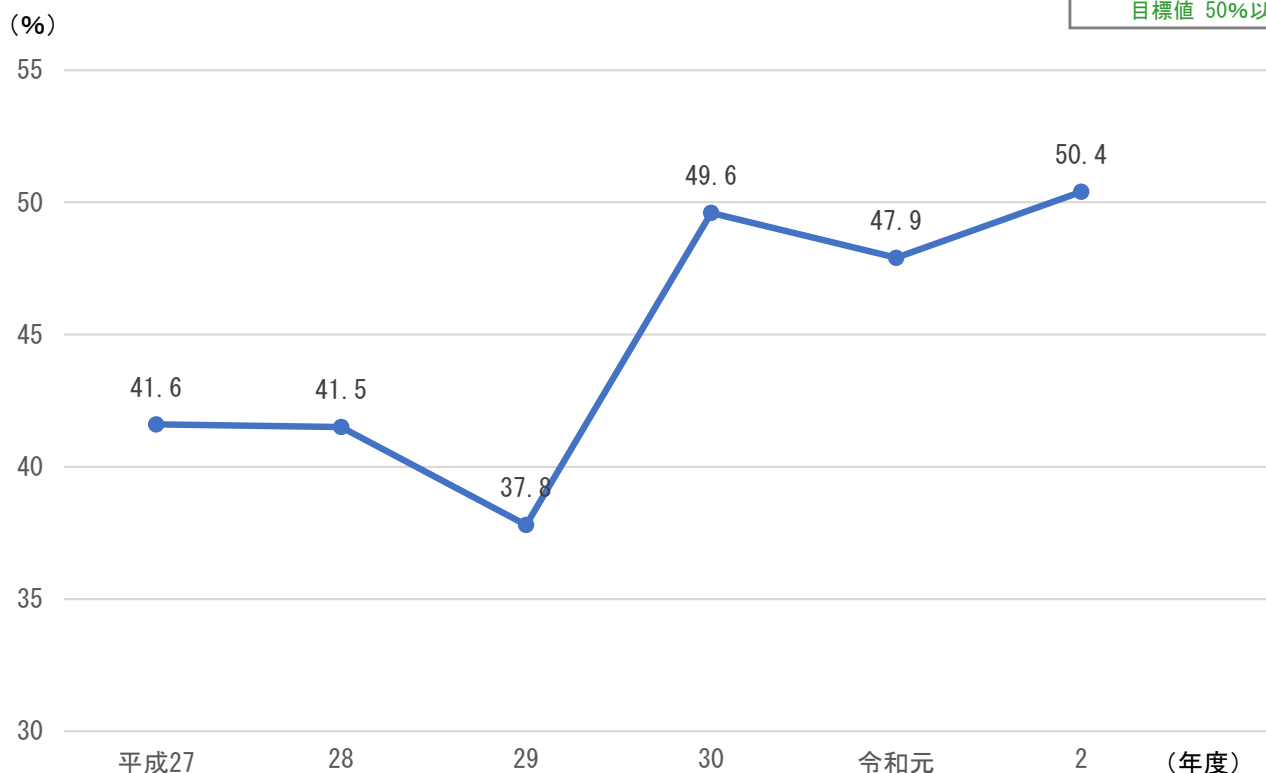


現状値 (令和2年度) 76.6%	改善 △
3次計画作成時 67.4%	
目標値 80%以上	

資料：消費者庁「消費者意識基本調査」（平成26、27年度）、「消費生活に関する意識調査結果報告書—食品ロス問題等に関する調査—」（平成28年度）、「消費者の意識に関する調査結果報告書—食品ロス削減の周知及び実践状況に関する調査—」（平成29年度）、「消費者の意識に関する調査結果報告書—食品ロスの認知度と取組状況等に関する調査—」（平成30年度・令和元年度・令和2年度）

図72 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている国民の割合

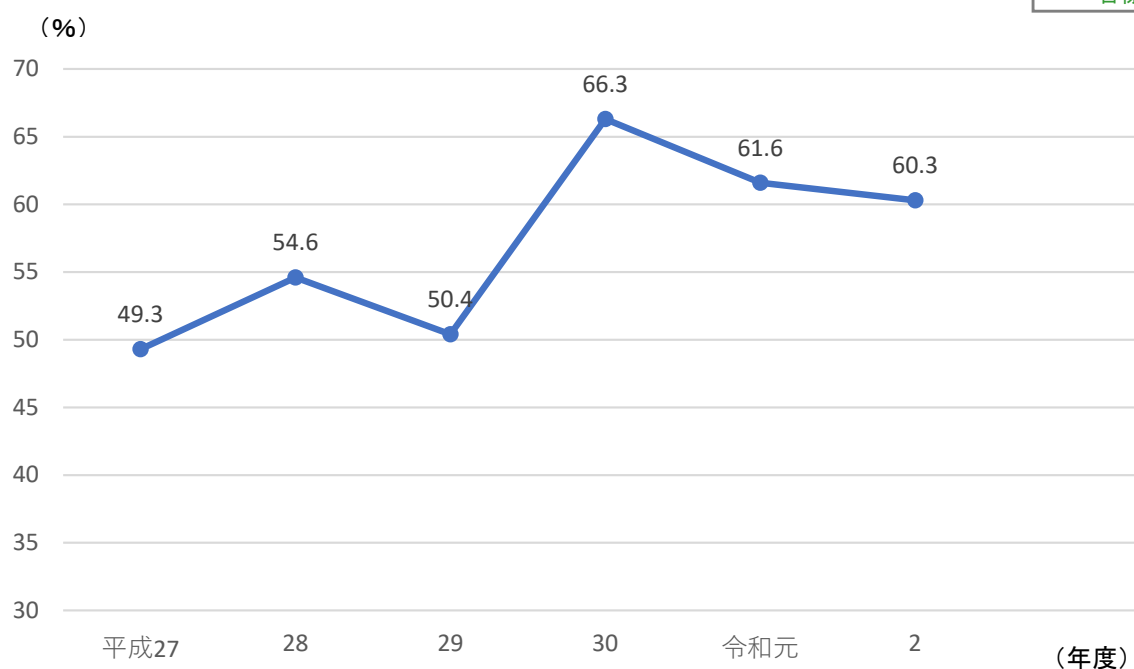
現状値 (令和2年度) 50.4%	目標達成 ◎
3次計画作成時 41.6%	
目標値 50%以上	



資料：農林水産省（平成27（2015）年度までは内閣府）「食育に関する意識調査」

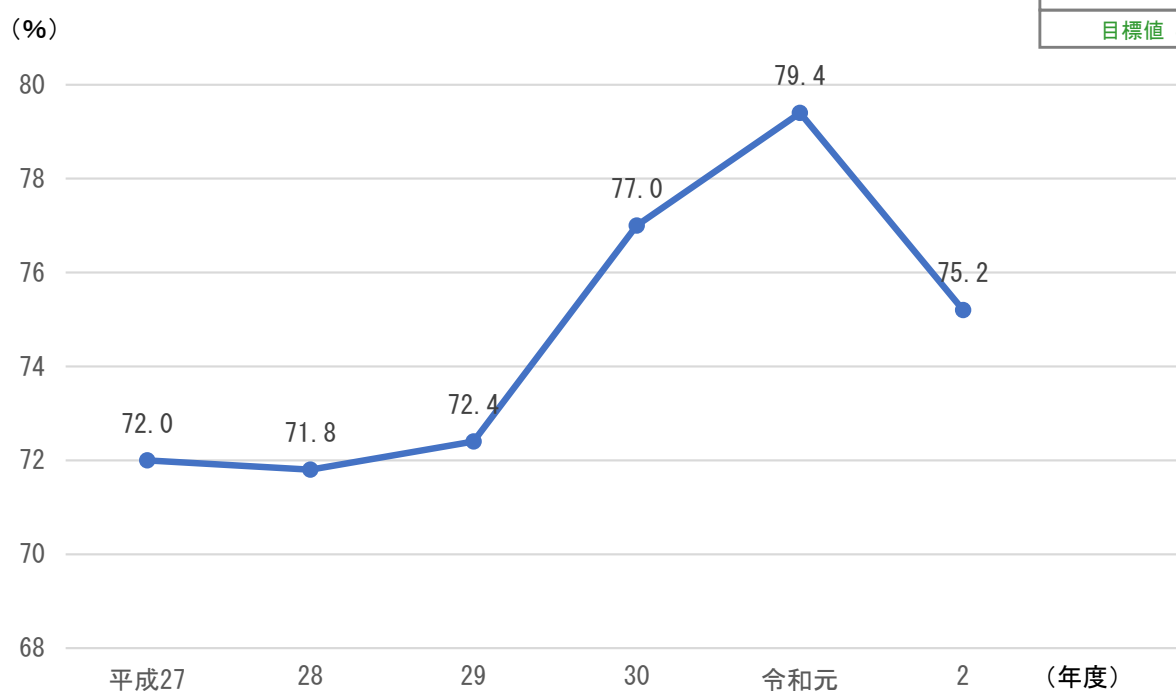
図73 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承している若い世代の割合

現状値 (令和2年度) 60.3%	目標達成 ◎
3次計画作成時 49.3%	
目標値 60%以上	



資料：農林水産省（平成27（2015）年度までは内閣府）「食育に関する意識調査」

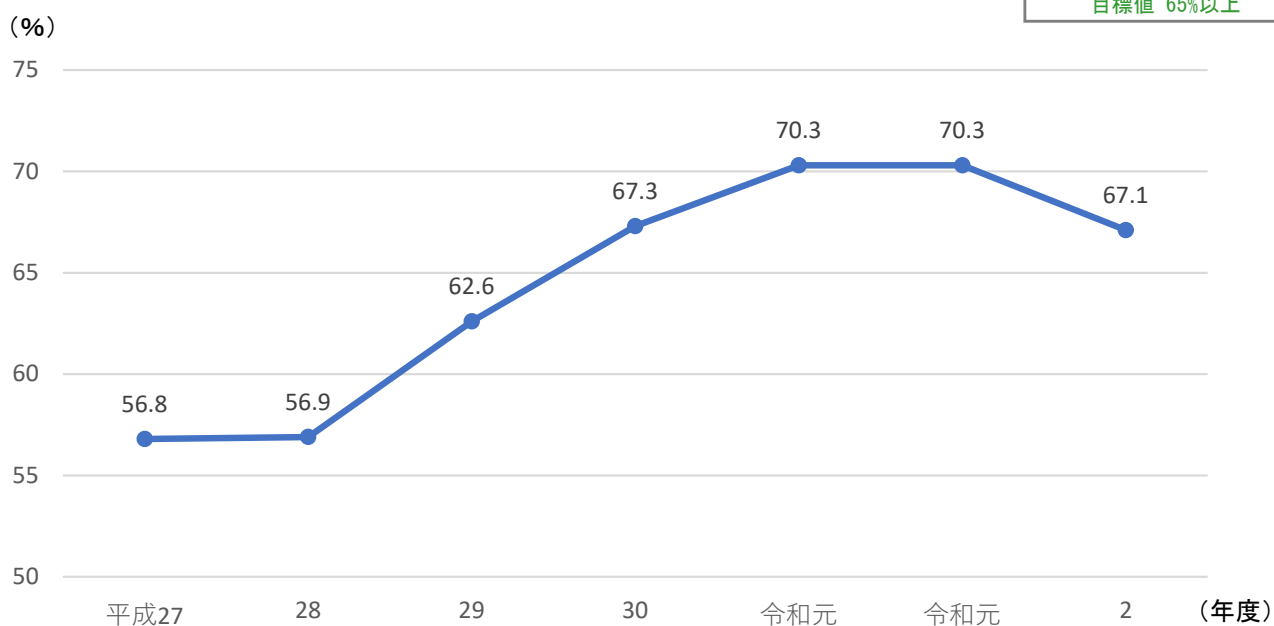
図74 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合



現状値 (令和2年度) 75.2%	改善 △
3次計画作成時 72.0%	
目標値 80%以上	

資料：農林水産省（平成27（2015）年度までは内閣府）「食育に関する意識調査」

図75 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する若い世代の割合

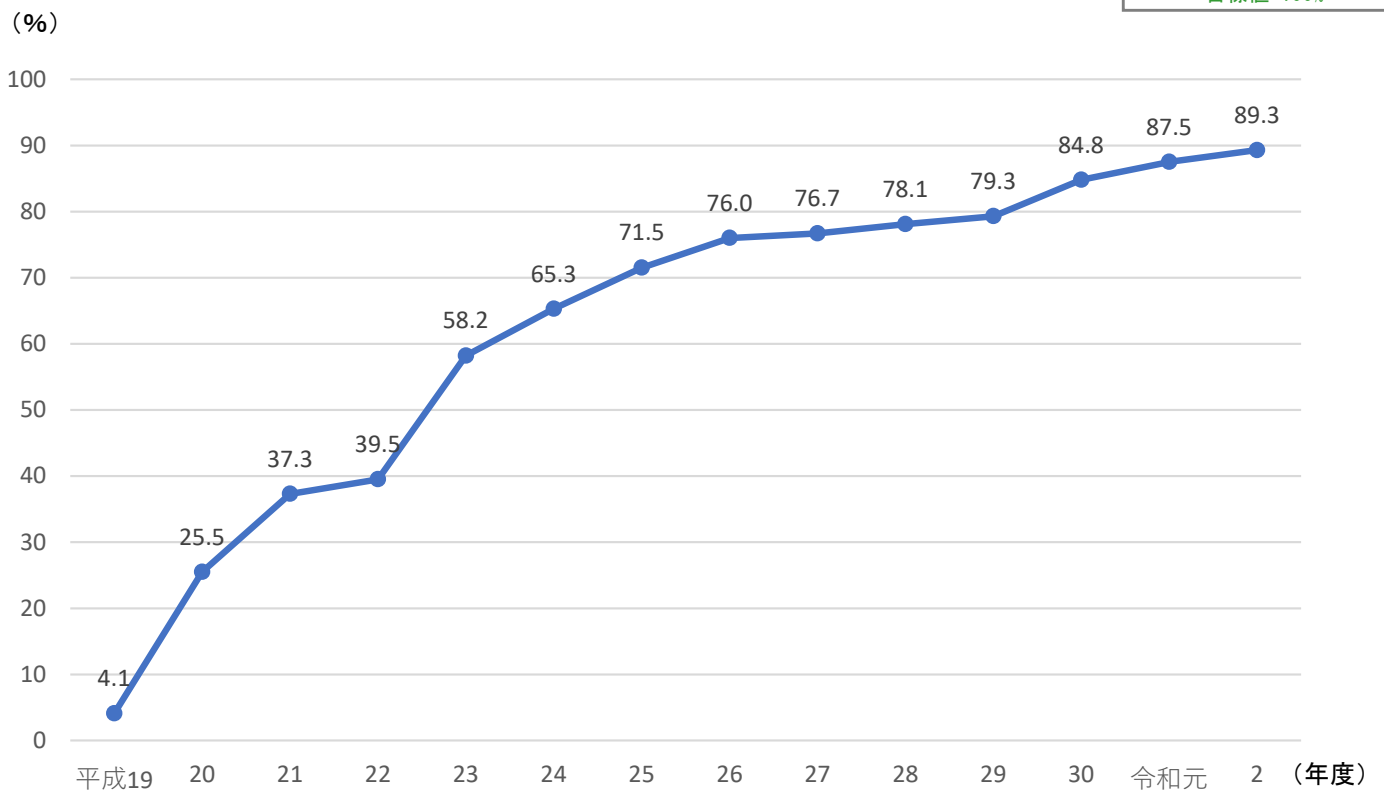


現状値 (令和2年度) 67.1%	目標達成 ◎
3次計画作成時 56.8%	
目標値 65%以上	

資料：農林水産省（平成27（2015）年度までは内閣府）「食育に関する意識調査」

図76 推進計画を作成・実施している市町村の割合

現状値 (令和2年度) 89.3%	改善 △
3次計画作成時 76.7%	
目標値 100%	



資料：農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課（平成27年度までは内閣府）調べ